第1章　「親ユダヤ主義」と南京事件　7
1　日本的反ユダヤ主義　9
2　戦時下日本政府「親ユダヤ主義」説の先鞭　14
3　司法による南京大虐殺の事実認定　16
4　「記憶の暗殺者」集団の論法　21
第2章　杉原千畝と五相会議　31
1　杉原千畝によるヴィザ発給は訓令違反だったのか　33
2　「杉原ヴィザ」をめぐる新解釈　45
3　「猶太人対策要綱」と「時局ニ伴フ猶太人対策」　57
第3章　ユダヤ人難民を救った日本軍将兵　75
1　日本軍のなかの「ユダヤ問題専門家」たち　77
2　『国際秘密力の研究』と『猶太研究』　90

3 「オトポール事件」というフィックション 101
4 「反ユダヤ主義」を批判した日本人 119

第4章 「第三帝国」のユダヤ人迫害と「大日本帝国」のユダヤ人利用論 123

1 ドイツ帝国におけるユダヤ人迫害 125
2 オーストリアのユダヤ人迫害と戦後の「戦争責任」回避 137
3 「ユダヤ人組織」指導層が強要されたナチス協力 147
4 頓挫した「ユダヤ人満州入植」案と「河豚計画」 152
5 「指定地域」へ囲い込まれた上海のユダヤ人難民 161

第5章 神戸在住ユダヤ人と神戸へ流入したユダヤ人難民 185

1 「神戸ユダヤ人協会」から「神戸ユダヤ人会議」へ 187
2 ユダヤ人と犯罪報道 201
3 「ユダヤ人お断り」 206
4 敦賀に到着したユダヤ人難民 209

5　第三国へ赴く中継地、神戸　216
6　統計にみる神戸のユダヤ人難民　233
7　神戸から上海への強制移送　241
8　「神戸ユダヤ協会」の戦争協力　250

終章　外国人労働者・政治難民とニッポン　255

史料出典一覧　281
あとがき　283
索引　295